

第 19 期 第 2 回町田市立図書館協議会次第

■日 時：2021年11月12日（金）14：00～15：00

■場 所：町田市民文学館ことばらんど 2階大会議室

■次 第：（括弧内は想定タイムテーブル）

1．図書館からの報告事項（14：00～14：10）

2．町田市子ども読書活動推進計画推進会議委員の推薦について
（14：10～14：15）

3．移動図書館について（14：15～14：55）

4．図書館評価について（14：55～15：00）

※会議終了後、図書館評価に関する委員間協議を行います。
（15：00～16：00【非公開】）

【次回開催予定】

- ・日 時：2021年12月24日（金）14：00～16：00
- ・場 所：町田市民文学館ことばらんど 2階大会議室

図書館からの報告事項

1. 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う図書館の対応について

9月30日 緊急事態宣言の解除

10月1日～10月24日 東京都におけるリバウンド防止措置

10月25日～11月30日 基本的対策徹底期間

⇒ 座席数の削減、パーテーションの設置、予約資料の消毒などの感染症拡大防止の対策を継続しながら平常通り開館

2. 町田市教育委員会等の動向

(1) 第7回定例会(10月8日)

・臨時代理報告第4号 第5期町田市生涯学習審議会委員の委嘱

⇒ 図書館協議会の推薦にもとづき10月1日付で仲村委員に委嘱の旨報告

(2) 第8回定例会(11月5日)

・議案第24号 町田市立図書館条例(案)について

⇒ 次回市議会定例会に議案として上程するため議事非公開
(市議会の議決後、議事公開予定)

3. アクションプランの取組など

(1) 移動図書館のイベント等への出張運行

・出張先 : 大地沢青少年センターイベント「はたらく自動車集合!!」

・実施日 : 10月31日(土)

・来館者 : 127名 おはなし会参加: 36名

(2) 英語多読講演会「英語多読で楽しく学ぼう!」の開催

・開催日 : 11月3日(祝) 14:00～

・場 所 : 中央図書館6階ホール

・参加者 : 43名

・講 師 : 酒井 邦秀 氏(NPO多言語多読 理事)

21町教生図第278号
2021年11月12日

町田市立図書館協議会委員長

松本 直樹 様

町田市立図書館長 中嶋 真

町田市子ども読書活動推進計画推進会議委員の推薦について（依頼）

日頃より、町田市の図書館行政にご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

さて、従前より町田市子ども読書活動推進計画推進会議に「町田市立図書館協議会」より委員の推薦をいただいておりますが、下記のとおり引き続きご推薦くださいますようお願いいたします。

記

- | | |
|---------|----------------------------------|
| 1 名 称 | 町田市子ども読書活動推進計画推進会議委員 |
| 2 任 期 | 2021年11月1日から2023年10月31日 |
| 3 推薦人数 | 1名 |
| 4 提出期限 | 11月30日（火）まで |
| 5 提 出 先 | 下記問い合わせ先もしくは図書館協議会事務局までお願いいたします。 |

問い合わせ先

町田市立図書館企画・地域支援係

担当：白井

電話：042（728）8220

Mail：syougaig050_02@city.machida.tokyo.jp

町田市子ども読書活動推進計画推進会議の概要

1 設置目的

町田市子ども読書活動推進計画推進会議（以下「推進会議」という。）は、町田市子ども読書活動推進計画（以下「計画」という。概要は別紙参照。）を効果的に推進するため、子どもたちに関わる市民と行政が、同計画の進捗状況についての確認や情報交換及び連携協力に関することを検討します。

2 委員の構成

「町田市子ども読書活動推進計画推進会議設置要領」で定めている委員の人数は14人です。内訳は、次のとおりです。

町田市公立小学校長会の代表 1人
町田市公立中学校長会の代表 1人
町田市立小学校の読書活動に携わる保護者 1人
町田市立中学校 PTA 連合会の代表 1人
町田市私立幼稚園協会の代表 1人
町田市法人立保育園協会の代表 1人
図書館又は学校図書館に係るボランティア 2人
町田市立図書館協議会の代表 1人
子ども生活部児童青少年課長
子ども生活部子育て推進課長
教育委員会事務局学校教育部教育総務課長
教育委員会事務局学校教育部指導課長
教育委員会事務局生涯学習部図書館長

3 任期

2年

4 開催回数

年2回程度

日程は都度調整します。平日の昼間、2時間程度です。会場は中央図書館です。

5 謝礼

会議1回の出席につき 10,500 円

第四次 町田市子ども読書活動推進計画 概要版 (2020年度～2024年度)



1 はじめに

読書をすることは、人間が生きていく上で重要な意義を持ちます。とりわけ子どもにとっては、これからの長い人生を生き抜く力を身に付けるために必要不可欠な活動です。しかし、近年のスマートフォン、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス。Instagram、LINE等）の普及など、急激な環境の変化により、さらに子どもの読書離れが進むことが懸念されています。

町田市は、子どもたちが多くの本と出会う機会を得て、読書のすばらしさや楽しさを体験できるよう、家庭、地域、学校等が連携し、社会全体で支えていくため、「第四次町田市子ども読書活動推進計画（案）」を策定しました。本計画をもとに、今後も子どもたちの読書活動推進に取り組んでいきます。

2 基本理念・目標

基本理念：自ら進んで本を読む子を育てる

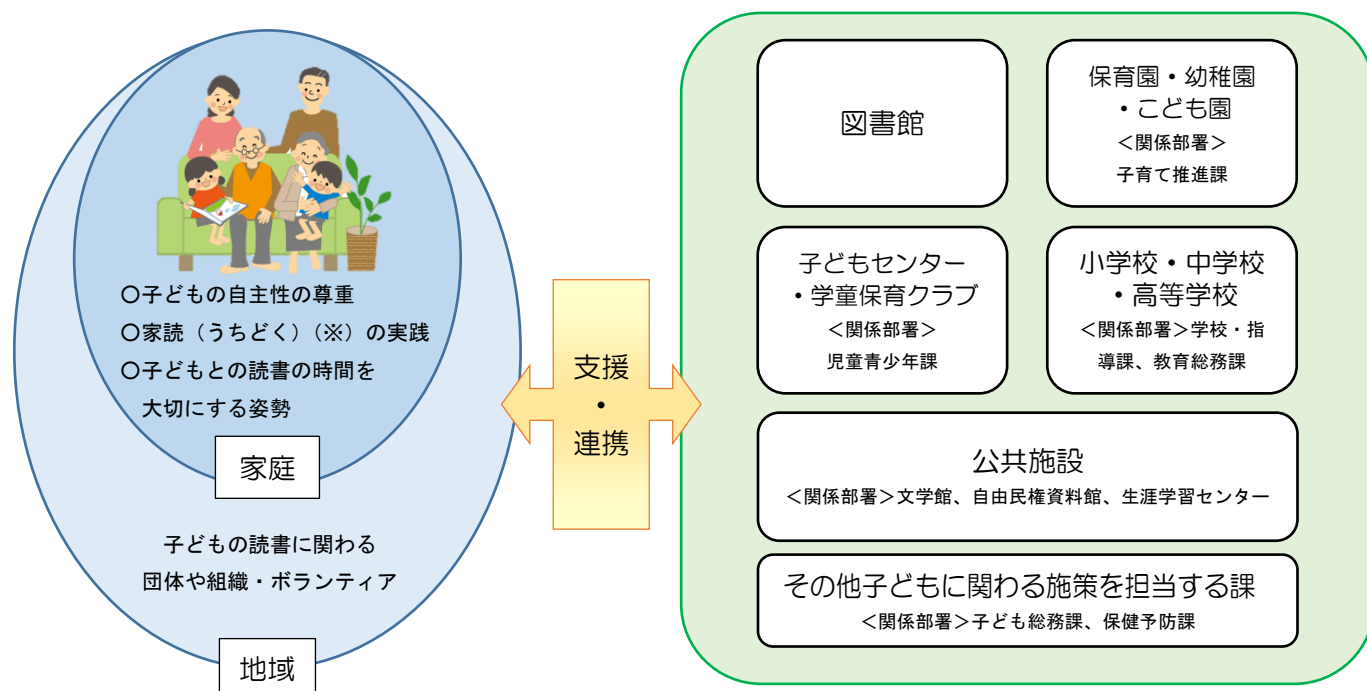
基本目標1：子どもが本と出会うきっかけ作り

基本目標2：いつでも身近なところに本がある環境作り

基本目標3：子どもの読書に関わる人の配置と育成

3 市民と行政の役割

市民（家庭・地域）と行政、ライフステージに応じた各施設の協働体制で取り組みます。



※家読＝家族で同じ本を読み、子どもを中心に読んだ本の感想を伝え合うことで家族のコミュニケーションを深める活動

4 取組内容

基本目標1：子どもが本と出会うきっかけ作り



- ◇ 場所と機会を捉えて、様々な年齢層に向けたおはなし会を行います。
- ◇ 英語のおはなし会を実施するなど、内容にバリエーションを持たせます。
- ◇ 一つのテーマでいろんなジャンルの本を紹介するブックトークを、図書館や学校で行います。
- ◇ 年代別、テーマ別おすすめ本の紹介リストを作成し、学校や施設で配布します。
- ◇ 子どもたちに図書館を知ってもらうため、図書館見学の受け入れを積極的に行います。
- ◇ 「まちだ図書館まつり」をはじめ、子どもが本に興味を持つきっかけになるようなイベント・講座を開催します。
- ◇ 母子手帳の交付時のおすすめ絵本の案内や、「マイ保育園事業」登録時の0歳児と保護者への絵本の配布など、早い段階で本に出会えるきっかけを増やします。
- ◇ 市内の小・中学校ではそれぞれ特色のある読書活動を行います。

基本目標2：いつでも身近なところに本がある環境作り



- ◇ 図書館に英語の児童書を増やし、「えいごのまちだ」を推進します。また、子どもたちの興味関心や調べ学習に対応できる資料、読むことに障がいのある子も楽しめる資料を充実します。
- ◇ 地域子育てセンターや子どもセンターなどの図書コーナーを充実します。
- ◇ 「学校図書館活用の手引き」をもとに、各学校図書館の蔵書整備を計画的に進めます。
- ◇ おはなし会や講座などの情報を「子育てひろばカレンダー」や「生涯学習NAV I」といった情報誌へ掲載するほか、子育てサイトや図書館ホームページ・ツイッターで発信するなど、情報発信を充実します。
- ◇ 市立小中学校の新1年生の家庭に「家庭学習推進の手引き」を配布し、家庭での読書習慣を啓発します。
- ◇ 地域文庫やまちライブラリーなど、本と出会える場所をまとめた「本と出会う場所マップ」を公開します。

基本目標3：子どもの読書に関わる人の配置と育成



- ◇ 学校図書館担当者や新任教諭への図書館研修を実施します。
- ◇ 読み聞かせやおはなし会ができるボランティアや保護者を養成します。また経験者のレベルアップを図ります。

5 計画の進行管理

関連部署・施設等と情報交換し、子どもの読書活動の進捗を確認して取組を進めるため「町田市子ども読書活動推進計画推進会議」を毎年度開催します。また、取組状況報告書を図書館ホームページに公開します。

町田市立図書館ホームページ → 図書館の取り組み → 計画・評価
<https://www.library.city.machida.tokyo.jp/outline/index.html>



移動図書館サービスに関する取組項目への意見について

第 18 期図書館協議会では、移動図書館に関わるアクションプランの取組についてご意見をいただきました。第 18 期でのご意見を基に、アクションプランの取組を進めるための具体策について事務局で検討を進めております。第 19 期では、事務局で作成した具体策についてご意見をいただきたいと思います。また、図書館サービス拠点の配置につきましても、検討を進めていきたいと考えております。

議論を進めるため、第 19 期での検討スケジュールを作成しましたので、各回、様々な観点からご意見をいただきたく、よろしくお願いいたします。

1 前回（第 19 期第 1 回）の資料説明

2 第 19 期の検討スケジュールについて

第 18 期図書館協議会での議論を受けて事務局で作成した取組の具体策などについて、以下のような流れで進める予定です。

回数	開催日程		検討項目 (アクションプランの項目)	検討事項
第 1 回	2021 年度	9/29	18 期での検討内容について	前期での検討内容説明
第 2 回		11/12	「移動図書館の出張運行」 「移動図書館を活用した体験学習」	- 前期での検討内容説明 - 第 19 期の検討スケジュール - 移動図書館車両の小型化について
第 3 回		12/24	「移動図書館の出張運行」 「移動図書館を活用した体験学習」	移動図書館車両の小型化について
第 4 回		1/25	「移動図書館の出張運行」 「移動図書館を活用した体験学習」	定期巡回場所見直しの考え方について
第 5 回	2022 年度		「移動図書館の出張運行」 「移動図書館を活用した体験学習」	定期巡回場所見直しの考え方について
第 6 回			「移動図書館の運行や 予約受け渡し場所の見直し」	【事務局作成】図書館サービス拠点の姿案について - 学校図書館地域開放の内容と実施場所について
第 7 回			「移動図書館の運行や 予約受け渡し場所の見直し」	【事務局作成】図書館サービス拠点の姿案について - 学校図書館地域開放の内容と実施場所について
第 8 回			「移動図書館の運行や 予約受け渡し場所の見直し」	2040 年における図書館サービス拠点の配置について
第 9 回			「移動図書館の運行や 予約受け渡し場所の見直し」	2040 年における図書館サービス拠点の配置について
第 10 回	2023 年度		まとめ	第 19 期における検討内容のまとめ

3 移動図書館車両の小型化について

第18期での検討の中で、運行可能な場所の拡大や運転手の確保のため、車両の小型化（ダウンサイズ）について事務局案の中で触れてきました。

改めて、移動図書館車両の小型化についてご意見をいただくため、運行状況やサイズ感覚、他市での導入車両、小型化のメリット・懸念事項についてまとめました。今回は車両の小型化について総論的なご意見をお願いいたします。

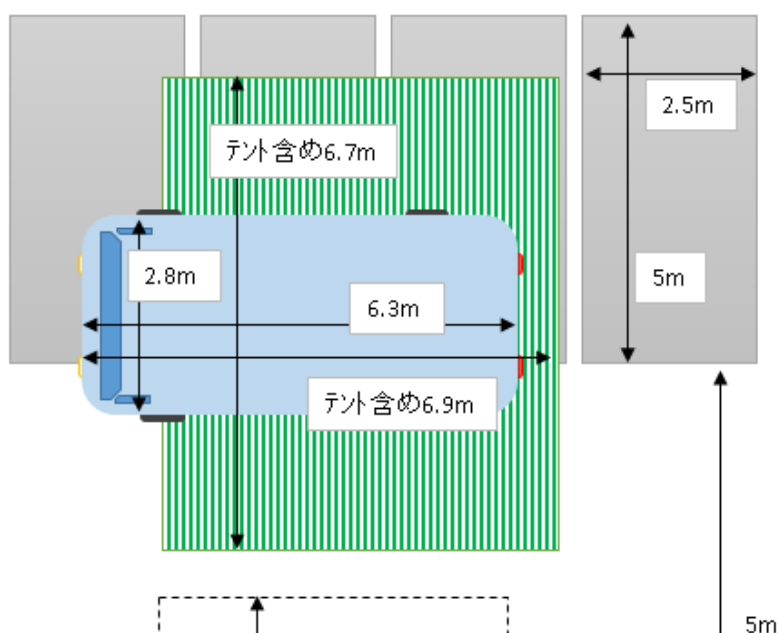
（1）現在の幼稚園保育園への出張の様子

（2）駐車場でのサイズイメージ

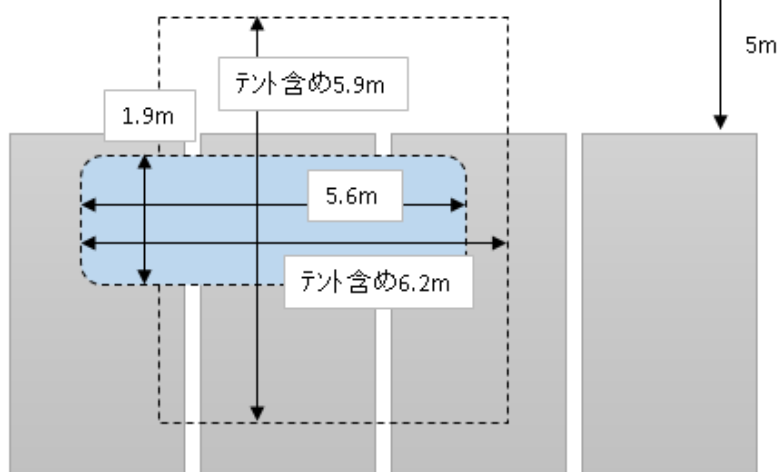
＜町田市の移動図書館車のサイズ等＞

サイズ（約）	車長 6.3m×高さ 2.8m×幅 2.1m
テントを広げた時	車長 6.9m×幅 6.7m
重量	書籍搭載後の総重量 6.5～6.8 トン（搭載可能冊数 3,500～3,800 冊）

＜町田市の移動図書館車両＞



＜松山市の移動図書館車両＞
(2,800～3,000 冊搭載)



（３）他市の移動図書館車両 いろいろなサイズ例

（４）移動図書館車のダウンサイズ時のメリットと懸念事項

<メリット>

- 小回りが利くようになり、運行可能な場所が増える。
- 重量減により、石畳の舗装部分など進入可能な個所が増える
- 車両総重量 3.5 トン未満にすれば、普通免許（H29～取得の場合）で運転できる
（現在の BM の総重量は 6～6.8 トン）

<懸念事項>

- △ 搭載冊数が少なくなるので、利用者の期待に応えづらくなる。
- △ サイズによっては乗車定員が少なくなるので、読書相談などを受けにくくなる。
（現在の定員は 4 人で、通常は運転手＋司書 2 名。）

(3) 他市の移動図書館車両 いろいろなサイズ例(冊数順)

※写真は、記載がないものは公式ホームページより引用

【明石市】 500冊搭載。3,000冊搭載の大型車との2台体制で77ヶ所を定期巡回。
駐車場の狭い場所にはくるりんで運行する。(2018.7～)



← 第18期第8回の資料1-④も参照

【東近江市】 500冊搭載。移動図書館「いきいき本の元気便」
定期巡回場所と、資料の予約申込みがあったら運行する場所がある。
また高齢者施設等への出張や健康講座の実施を受付(2021.3～)

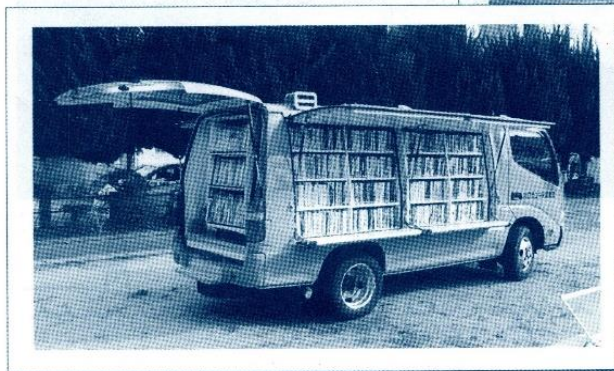
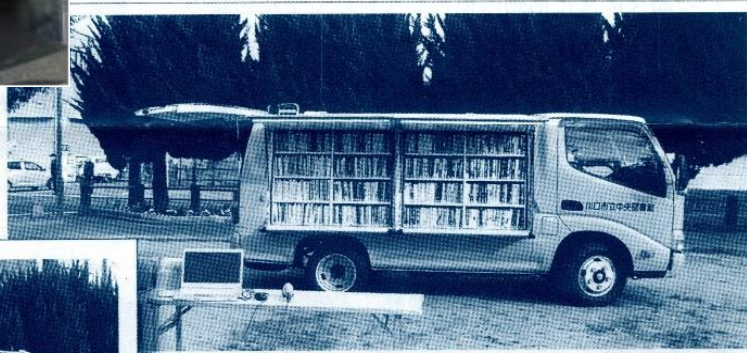


【鳥栖市】 1,000冊搭載。ブックトラックを車内に固定して運ぶ移動図書館車。
ブックトラックに250冊×4台で1,000冊。(2018.1～)



← 朝日新聞デジタル佐賀版
「鳥栖市が新型移動図書館」より

【川口市】 1,200冊搭載。鳥栖市と同じようなバンでも、車に書架を搭載する方が多い。
 後ろも書架。回転させて開けることで、荷室にもものを入れられる。(2019年度更新)



↑ 林田製作所「図書館車の窓 115号」より

【京都市】 2,200冊搭載。マイクロバスの中に書架を設置している。外側からは本を取れず、
 窓から書架の背面が見える。



(京都市移動図書館の内部)



↑写真は2点とも、LIVING京都web 2021年6月10日の投稿 kyotoliving.co.jp/webfriendより

【厚木市】2,600冊搭載。車いす用リフトつき。(2019年度更新)
全長:4,820、全幅:1,900、全高:2,610mm



わかあゆ号



わかあゆ号昇降機



【筑紫野市民図書館】 3,000冊搭載。2021.3.25リニューアル時に昇降リフトを設置、
車内の通路幅を1,200mmと広げ、車いすに乗ったまま本棚を見られるようにした。



【松山市】 2,800～3,000冊搭載。4台のBMでおよそ160ヶ所を巡回中。
全長5,600、全幅1,890、全高2,700mm



↑ www.ehime-u.ac.jp/post-92856/

【泉佐野市】 現行車は3,500冊搭載(全長6,990、全幅2,025、全高2,900mm)
⇒ 今年度中に3,000冊搭載車(全長6,300mm以内、全幅2,200・全高2,850mm程度)に
買換え予定。



↑ いこらもーる泉佐野のイベント情報 www.ikorajp/eventより
このショッピングモールには、3週間周期で土曜日の14:20～15:50に滞在

移動図書館サービスに関する取組項目への意見について

2020 年 2 月に策定した「効率的・効果的な図書館サービスのアクションプラン」（以下、アクションプランといいます。）において、「移動図書館の出張運行」や「移動図書館を活用した体験学習」、「移動図書館の運行や予約資料受渡場所の見直し」の 3 つの取組を示しています。

第 18 期では、第 5 回からこれらの取組に関してご意見をいただきました。第 19 期も引き続き、移動図書館の取組に関して様々な観点からのご意見をいただきたいと思いますと考えております。

今回は、第 19 期図書館協議会委員の皆様との情報共有のため、図書館サービス拠点の現状や第 18 期での検討内容について説明いたします。

1 図書館サービス拠点の配置の現状について

⇒ 【資料⑥－2】図書館サービス拠点の配置図（町田市とその近隣自治体施設）をご参照ください。

（1）建物図書館

<図書館>

種類	規模	蔵書	館数	館名
中央図書館	大規模 (5,968 m ²)	約 58 万点 (視聴覚資料含む)	1 館	中央
地域図書館	中規模 (1,000～1,500 m ²)	10～13 万冊	4 館	さるびあ、金森、鶴川駅前、忠生
	小規模 (250～500 m ²)	5～6 万冊	3 館	鶴川、木曽山崎、堺
合計			8 館	

<文学館>

町田市民文学館	図書館機能あり (利用登録・更新、資料の貸出・返却、予約した資料の受取、リクエスト用紙の提出、読書相談)	1 館	町田市民文学館ことばらんど
---------	---	-----	---------------

（2）予約資料受け渡し場所

インターネットなどで予約した資料の受取や資料の返却、リクエスト用紙の提出ができる施設。市内に 5 カ所設置。

- ・小山市民センター
- ・南町田駅前連絡所（南町田リエゾン）
- ・子どもセンター“ばお”分館（WAAAO わーお）
- ・成瀬コミュニティセンター
- ・玉川学園コミュニティセンター

(3) 移動図書館巡回場所

移動図書館巡回場所では、利用登録・更新、資料の貸出・返却、予約した資料の受取、リクエスト用紙の提出、読書相談ができます。移動図書館車は3台（さるびあ図書館発着2台、堺図書館発着1台）で運行しています。

- ・定期巡回：2021年度巡回箇所60箇所（日本聾話学校を含む）
- ・出張運行：芹ヶ谷公園多目的広場（せりがや冒険遊び場前、4週に1回）
保育園・幼稚園（4園、月1回程度もしくは不定期）

※移動図書館について詳しくは、【資料⑥－3】「町田市の移動図書館『そよかぜ号』（2021年度版）」をご参照ください。

(4) 相互利用図書館

町田市近隣の自治体と、行政区域を越えて相互に図書館資料を利用できるように相互利用協定を締結。（現在は、相模原市、八王子市、府中市、調布市、日野市、多摩市、稲城市、川崎市、大和市、横浜市の10市）

＜町田市と隣接している相互利用図書館＞

自治体名	町田市近隣の図書館・移動図書館巡回場所 (※アルファベットは、資料⑥－2の地図上の記号と対応)	町田市民の 資料予約
相模原市	相模原市立図書館（A）、相模大野図書館（B）、橋本図書館（C）	可
八王子市	八王子市立南大沢図書館（D）	可
多摩市	多摩市立図書館本館（E）、唐木田図書館（F）、豊ヶ丘図書館（G）	不可
川崎市	川崎市立麻生図書館柿生分館（H）、 川崎市自動車文庫運行場所「五カ田（五カ田中村公園内）」（a）	不可
横浜市	横浜市移動図書館ステーション 「奈良北（奈良町第三公園）」（b）、「ならやま（奈良山公園）」（c）	不可

2 「効率的・効果的な図書館サービスのアクションプラン」の取組項目について

(1) 「移動図書館の出張運行」

- ・近年の貸出冊数の減少傾向などを考慮し、3台による定期巡回運行について、巡回拠点や運行台数などを見直します。
- ・一方、子どもセンターや高齢者施設、冒険遊び場やイベント会場など人が集う場に出向くなど、新たな運行を実施することによって、交流や憩いの場を創出します。

(2) 「移動図書館を活用した体験学習」

- ・移動図書館の運行見直しの一環として、小中学校、保育所、幼稚園等に出向き、ミニおはなし会や図書館講座などを実施します。
- ・子ども達が、体験しながら学習ができる機会や本に触れる機会の充実を図ります。

(3) 「移動図書館の運行や予約受け渡し場所の見直し」

- ・ サービス拠点のあり方を見直します。
- ・ 移動図書館については、定期巡回運行におけるサービスポイントや巡回頻度などを見直すとともに、イベントや子どもセンターなど人が集う場所への派遣を行います。

3 2019 年度の巡回場所の見直しと 2020 年度の試行的取組

2019 年度に、利用者がかなり減少している 6 か所を巡回終了とする巡回場所の見直しを行いました。併せて、新たな出張運行先を調査するため、幼稚園保育園に移動図書館の出張運行に関してアンケート調査を実施しました。

2020 年度からは試行的な取組として、保育園・幼稚園への出張運行などを開始しました。

4 第 18 期の説明と検討の内容

第 18 期第 5 ～11 回においては、以下のような流れで説明・検討を行なってきました。

(1) 第 5 ～ 7 回 「移動図書館の出張運行」と「移動図書館を活用した体験学習」について

移動図書館の現状についての説明と課題検討を行い、2021 年度の具体的な取組について意見をいただきました。

＜2021 年度の具体的な取組に向けた課題＞

「限られた資源の中での効果的な、巡回場所・出張運行場所と滞在時間の設定」

「効果的な P R 実施」

＜2021 年度の具体的な取組＞

- ・ 幼稚園・保育園（4 園）や芹ヶ谷公園などへの出張運行の継続
- ・ イベント会場への運行の継続
- ・ 移動図書館巡回場所へのプレート（バスの停留所のような）の設置

(2) 第 8 ～11 回 「移動図書館の運行や予約受け渡し場所の見直し」について

図書館サービス拠点の配置状況や他自治体による図書館遠隔地サービスの現状などの報告を行いました。そして、他自治体の取組を参考にして事務局が作成した図書館サービス拠点の姿案についてご意見をいただき、3 つの案を作成しました。

＜【事務局作成】図書館サービス拠点の姿案＞

- ①学校図書館地域開放積極実施＋移動図書館（1 台）案（参考用・【資料⑥－4】）
- ②学校開放と予約受渡場所＋移動図書館（2 台）案（参考用・【資料⑥－5】）
- ③移動図書館拡充案（参考用・【資料⑥－6】）

(3) 第 18 期のご意見まとめ

⇒ 【資料⑥－7】「第 18 期の振り返り（ご意見まとめ）」をご参照ください。

5 今後の議論の進め方について

■ 第18期（2019年8月～2021年7月）



- ・ 中長期的な視点から図書館サービス拠点の姿について複数案作成する。

■ 第19期（2021年8月～2023年7月）



【2021年度】

- ・ 2020年度の見解から、図書館が取組案を作成する。
- ・ 図書館が作成した「移動図書館の運行や予約資料受け渡し場所の見直し」に関する取組について意見をいただく。

【2022年度】

- ・ 図書館協議会からいただいた意見を踏まえて「移動図書館の運行や予約資料受け渡し場所の見直し」に関する取組を実施。

■ 第20期（2023年8月～2025年7月）

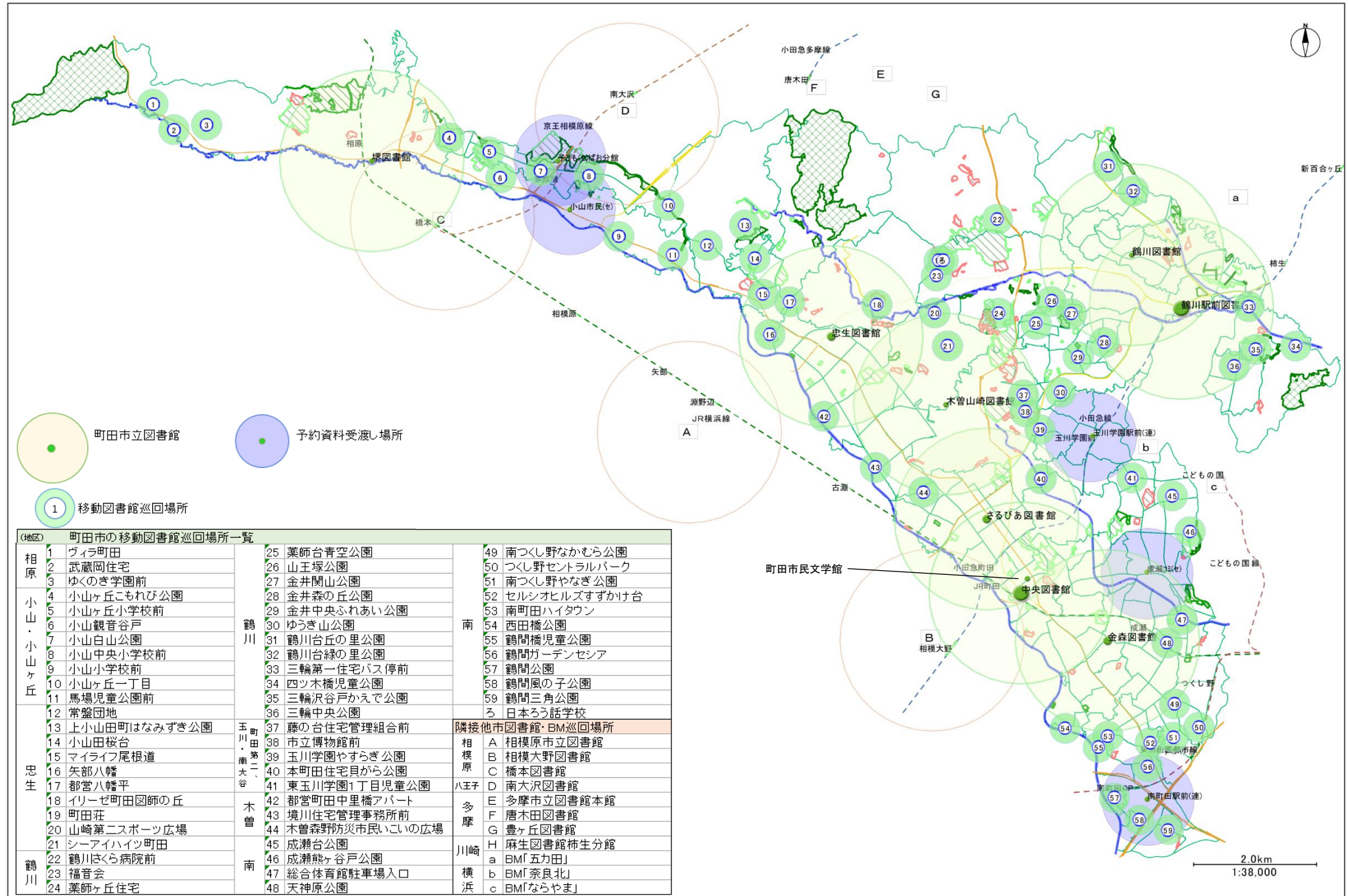


【2023年度】

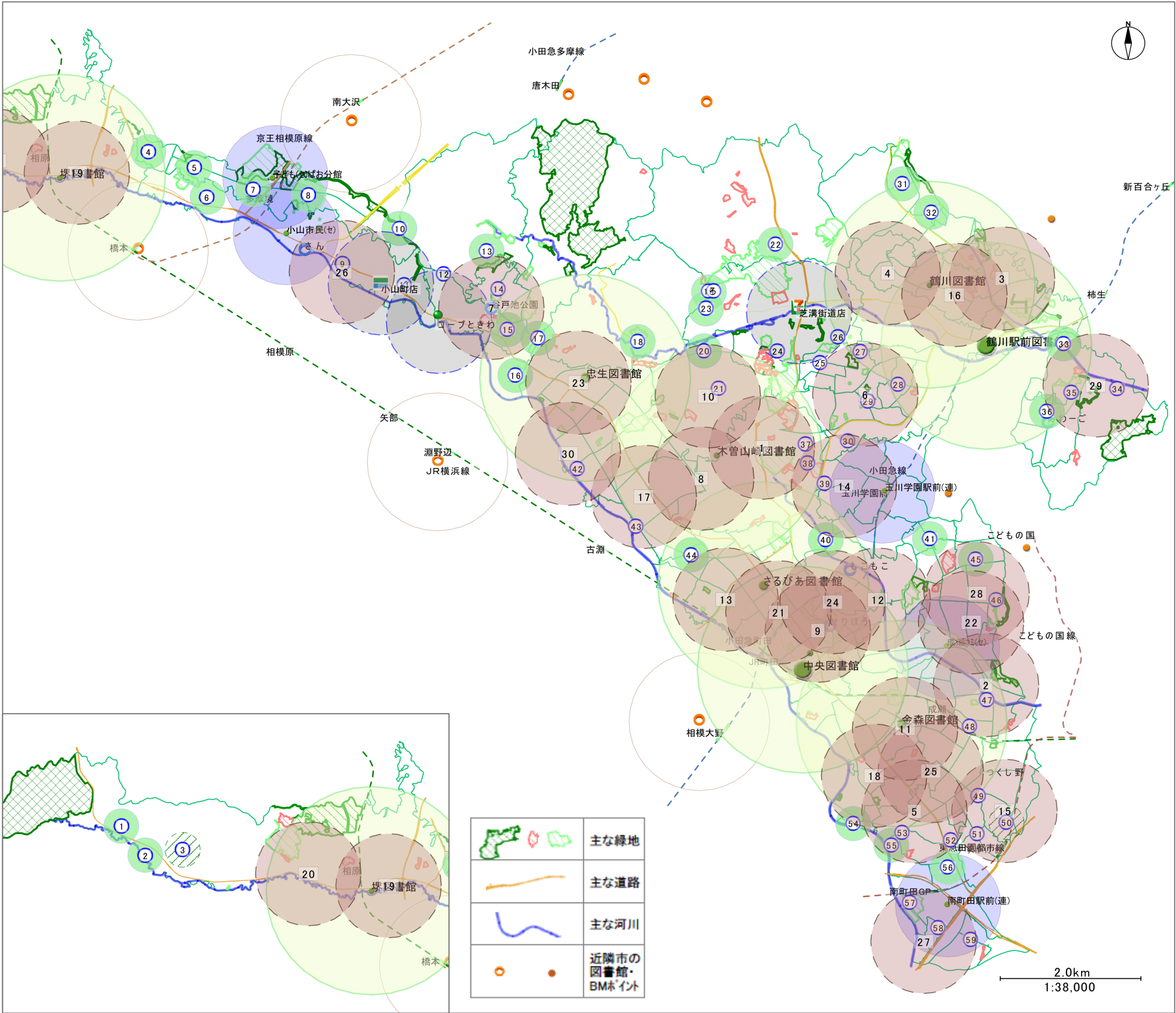
- ・ 2022年度の実施結果の振り返りとそれに対して意見をいただく。
- ・ 2024年度からの（仮称）次期生涯学習推進計画に反映させるため意見を整理する。

■ （仮称）次期生涯学習推進計画に図書館の取組を反映

【第19期第1回資料⑥-2】図書館サービス拠点の配置図(町田市とその近隣自治体施設)



参考(第18期第11回資料)・【資料⑥－4】学校図書館地域開放積極実施＋移動図書館(1台)案



① 統合による新設または単独建替えが計画されている
小中学校 ⇒点線の円

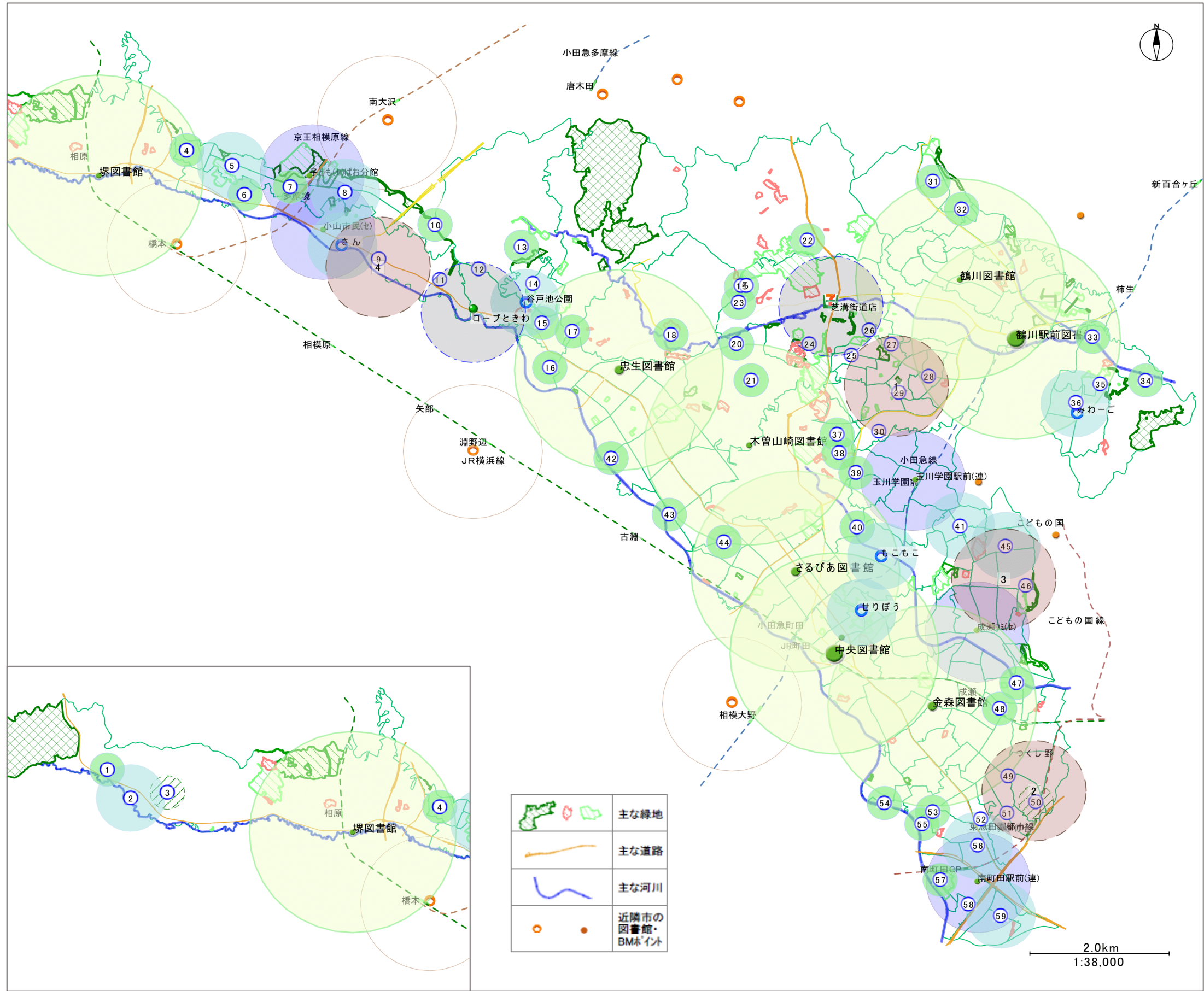
		基本計画想定
1	本町田東小	2021～
2	南二小	2021～
3	鶴二小	2021～
4	鶴四小	2021～
5	南一小	2022～
6	金井中または金井小	2024～/2039～
7	小山田南小	2024～
8	山崎中	2025～
9	町二小	2025～
10	七国山小	2027～
11	南四小	2027～
12	町六小または南大谷中	2027～/2036～
13	町四小	2027～
14	町五小	2028～
15	つくし野小(※)またはつくし野中	2030～/2037～
16	鶴二中	2030～
17	忠三小	2030～
18	南中	2031～
19	堺中	2031～
20	相原小	2031～
21	町一小	2031～
22	成瀬中央小	2033～
23	忠生中	2033～
24	町二中	2034～
25	小川小	2035～
26	小山小	2038～
27	鶴間小	2039～
28	成瀬台中	2040～
29	三輪小	2041～
30	木曽中	2043～

※ つくし野小はつくし野セントラルパーク(現移動図書館
巡回場所)が予定地の第一候補となっている。

② 予約資料受渡し場所設置を依頼する店舗等
⇒一点鎖線の円

	セブンイレブン芝溝街道店	どちらか
	コープみらいときわ店	
	ファミリーマート小山町店	

参考(第18期第11回資料)・【資料⑥－5】学校開放と予約受渡場所+移動図書館(2台)案



① 統合による新設または単独建替えが計画されている
小中学校 ⇒点線の円

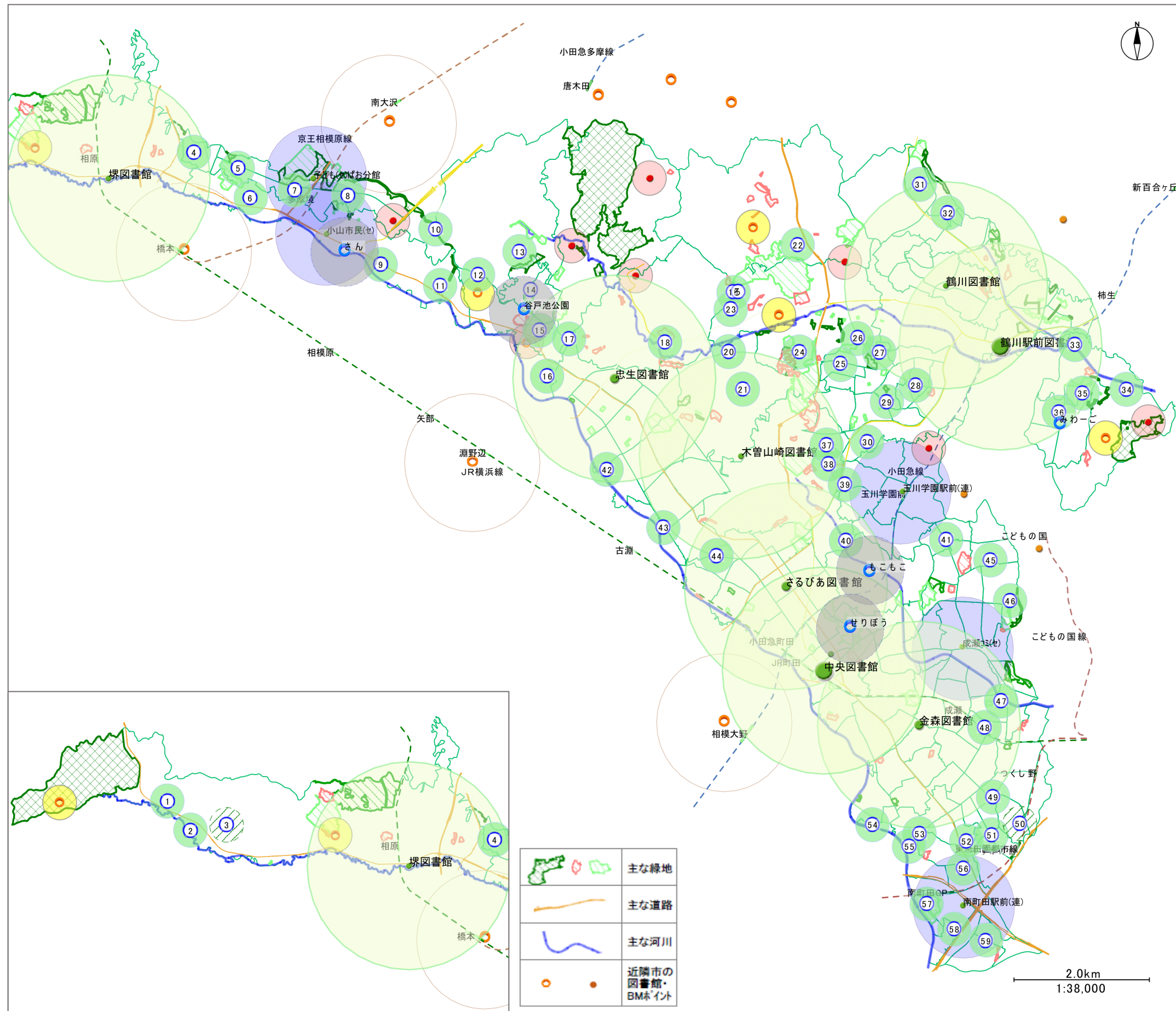
		基本計画想定
1	金井中か金井小	2024～か2039～
2	つくし野小(※)かつくし野中	2030～か2037～
3	成瀬中央小か成瀬台中	2033～か2040～
4	小山小	2038～

※ つくし野小はつくし野セントラルパーク(現移動図書館
巡回場所)が予定地の第一候補となっている。

② 予約資料受渡し場所設置を依頼する店舗等
⇒点鎖線の円

	セブンイレブン芝溝街道店
	コープみらいときわ店

参考(第18期第11回資料)・【資料⑥-6】移動図書館拡充案



1台増加により、巡回場所増加、利用の多い場所の長時間滞在を図る。

- 新たな巡回場所の案(ピンクの小円に●印)
例えば、
 - ▷ 公共施設(三輪の森ビジターセンター、里山交流館等)
 - ▷ 公園等
- 新たな出張・訪問運行場所の案(黄色の小円に◎印)
 - ▷ 幼稚園・保育園等
 - ▷ 子どもセンター・クラブ、大地沢青少年センター等
- 既存巡回場所を長時間滞在する案
 - ▷ 現状の巡回で、利用がたいへん多い場所
②武蔵岡住宅や④成瀬台公園等々
 - ▷ 利用もそれなりに多く、子どもクラブや冒険遊び場等に近い場所
⑭小山田桜台、⑳三輪中央公園